

美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和元年12月24日（火）19：00～21：00
場 所	矢梨漁村センター
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、 石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約52名
内 容	

事業の経緯・概要説明 都市整備課長 10分間 資料による

町長の経過説明 町長30分間

ここにいるのは、公約でもある「ストップ運動公園」。

神谷町長になってH27.4から奥田駅前の開発計画から始まった。計画は28年前もあった。

役場の中から会議が立ち上がった。役場の職員が検討し大学の職員も入って400mトラックが欲しいということになった。

それ以前に大学には、トラックを造る構想があり、買えない用地があったが1年後にグラウンド(現サッカー場)ができた。

元々公園構想に山王川左岸側は含まれていなかったが、公園を計画する段階で現在の区域となった。

H29、30と超スピードで進んできたことが選挙の問題点となった。

区画整理が一番いい。街ができれば固定資産税が入る。区画整理を実施した地区は若い世代や子供が多く住んでいる。旧市街地は減ってしまった。

今、区画整理をやっても造成費が捻出できない。柿谷地区で苦労した。

今回、町が土地をすべて買ったから町営の区画整理ができると思っていたができないことが分かった。しかし、民間開発なら駅前という条件もありできることが分かった。

ある大手ハウスメーカーが、事業中止に伴う返還金(6億円)以上の8億円で買ってくれると言った。

中止に伴う返還金は、都計税で払えないから財政調整基金で返すことになる。

民間開発には5～6年必要で、その間どうするか。銀行での借り入れもできない中、事業を中止するも進めるも地獄。

公約を守れない。住民投票はやらない。ストップはできないから今の財政の中で進める方法で、議会とも話をしながらいい方法で町民が納得する形でやるしかないということで、まずはお詫びを申し上げる。

今の財政問題、愛知県で最低、今までの計画で進めるにはどうするか。

日福大の協力がある。これまでも包括協定で検討している。町にはノウハウがないので大学との話し合いを進めていくしかない。そういう形の進め方でやれれば前に向けていける。よりこのグラウンドを目標通り活性化しながら使っていくには一つの方法。

もう一つは、一番お金のかからない整備、国・県のルールの中でやれる方法を考えるのが今回の議会の結論。

もっとやるべきことがたくさんある。少子高齢化により南部小学校で子供が減っている。教育委員会と協議しながら小中一貫校を計画している。子育てしたいと思える

地域づくりが必要でR7年までにそれをやろうとする目標。
財政が厳しい。

産業の振興も大事。税収が減っている。企業がないので企業誘致をしなければ。
当初は切山地区に構想があったが再度考えられないか。水に侵されない海から離れた高台のニーズが高いのでチャンスがある。

農業は、耕作放棄地の対策。ほぼ100%国の事業で畠の整備ができる。町外から人が来てくれる。みはまっこ農家が17軒しかない。奥田平井でやれればいい。

運動公園をやつたらお客様が多く来る。合宿等で泊まってくれる。空港から美浜へ来るストーリー。

私はひたすらお詫びするだけだが、これでは済まない。やる以上は、効果の上がる進め方を議会、執行部と検討しながら進めるしかない。私が辞任することは簡単だ。すでに辞表を出せと言われている。

質疑応答（・質問 ⇒町の回答）

男性1

- ・公約では、運動公園はやらないと言ったがどうするのか。
儲かるのか、絶対に儲からない。あなたに1票入れたのに。
⇒やるからには、大学に協力も得ていい形でやれるかどうかが一つ。

男性2

- ・チャレンジミハマが辞職勧告を出したが、進めるチャレンジは事業が失敗したときに責任を取るのか。

維持管理費が2,000万円で使用料収入が800万円とあるが、1,200万円のマイナスだ。消費額、経済効果はどこに来るのか、結局は町が返していかないといけない。今ストップなら8億円で済む。利益が出る確証がない。運動公園で成功しているところがあるなら教えてほしい。

⇒これまでの公共施設は住民の利用に供するものなので利益は考えていない。しかし美浜町は人口減少に対応するため交流人口による消費拡大を図っていく。運動公園だけで利益を出すことはできないが、10年ほど前からスポーツ庁もスポーツを観光の資源として取り組んでおり、全国の自治体が取り組んでいる。

本町も温暖な気候を活かして合宿等を誘致していく。また、駅前であり、大学がある利点がある。大学の施設と人材も協力いただきながら活性化を進めていくという目的で計画した。

- ・税収も減っているのか
⇒横ばいです。

- ・交流人口は具体的にどう増えるのか。具体的な競技は何か。
⇒大学と高校に利用者を聞いていて4万人。そのほかに町民、大会、合宿。

- ・大学から使用料は入るのか。
⇒当然いただくが、金額は今後協議して決める。

知多市と半田市に陸上競技場があり4万人程度だが、本町は大学があるので、多く見積もっている。

- ・大学以外の交流人口はどのように見込んでいるのか。
⇒合宿が本町の実績及び先進地の例により2,800人、大会の内容は具体的には決まっていないが今後詰めていく。
- ・誘致する団体の誘致の見込みはないのか。

⇒本町は3種の競技場であるので、検討している。

男性3

- ・効果が上がるやり方というが、町長は国会議員や県会議員と歩調を合わせてやるのか。

⇒当然、国会議員、県会議員とも話をしている。20日には一緒に国に行ってきました。

男性4

- ・事業を継続する方向に転換したのに責任を切り替えて、公約にも反するし、選挙時も誤った情報を流して不安を煽って当選したが、どのように責任を取るのか。

⇒法律的にわからないことが多いからここまで来たことは事実。その上で、今からあらゆるものを考えながら一番いい方法で、議会と執行部と町民の意見で進めようとしている。放棄していない。よりいい形で進める責任があると答えている。逃げはしない。これをご理解いただきたい。

だからこれを進めるに当たっては、担当に計画の見込みは甘いと言っている。
本町の場合は過剰投資、身の丈に合ったやり方をこれからやっていく。

大学の力もお借りして、一番いい方法を考えていく。

- ・なぜ運動公園に反対かと聞いたときには、身の丈に合っていないと言っていたが、身の丈とは何か、わかりにくい。

⇒企業でいえば、赤字にならない規模であること。

- ・この事業に関連するインフラ整備もやるのである。

⇒それも考えてやっている。知多西部線も本来県でやることを町でやっている。

河川は末端からやってほしい。上野間の稻早川で経験した。

でも、前に進むしかない。

男性5

- ・新聞で勉強不足だったと発言があった。8ヶ月間議会でごたごたして方針を示していない体たらくで訳が分からない。2年も前から言っていた。今回は反対のための反対にしか見えない。ここにきて大転換した。議会と一丸となって進めていかれるのか。斎藤さんに賛同された方は真逆のこととなり信頼信用はどこに行ったのか。町長に留まる理由はない。

男性2

- ・都市計画税の使い方は。

⇒都市計画法に基づく都市計画事業及び区画整理法に基づく区画整理事業の事業費とその事業費の償還に充てることができる。

男性6

- ・昨日の話とニュアンスが違う。陸上競技場ではないものを造ろうとしているのか。
⇒中止はしていない。当初から総合公園から奥田駅前に土を運ぶことは止めていない。これからどういう整備をするかを慎重に審議しようと言っている。陸上競技場を含めての話。止められない。

何を節約できるかを検討する。活性化するためには大学と一緒にやらないとできないがそれも話し合いをする。

- ・R2の事業はどうなるのか。

⇒R1年度に予定した事業を継続していく。R2年度の補助金は要望している。

男性2

- ・都市計画税で13億円を返していくがこの借入金がないなら払わなくてよいのか。
⇒制度上、市街化区域に課税している。都市計画事業に使っていく。

男性4

- ・斎藤町長が代表者で石田議員が事務局長を務める美浜町民の幸せと将来を考える会が発行したチラシには明らかに誤認の情報があり、訂正させるよう願う。

運動公園事業を誤解させた原因であるので本人から回答が欲しい。

⇒チラシのどこが違っているのか示してほしい。

男性 7

- ・45億円ははじめからか。

⇒基本構想は28億円であったがその後必要な施設を検討して設計を精査した結果45億円となった。H30.11の町政懇談会で説明をした。

・今この段階にきて、やるとかやらないとか言っても決まらない。どういう経費削減をしたらやっていけるのか住民に聴いてもわからない。具体的に示してくれなければわからない。どれくらいの規模なのか町の考えを先に出すべきだ。

⇒町の案は決まっていない。経済効果と投資は比例するので検討を要する。

この計画が何故あるかというと、美浜町の人口減少の課題をどうするか、何もしないでこのまま行ったらどうなるかということを心配している。どの町も人口増加が望めない状況で交流人口の取り合いをしている。本町も観光で頑張っているが、今の資源（大学等）を活かして取り組むことが生き残っていくやり方だと思っている。その中で、この運動公園の整備も出てきた。

45億円は莫大なお金がかかるが、華美な施設を計画しているわけではなく、人を呼ぶために必要最低限の施設を積み上げた結果この金額になった。建設については都計税を充当できるので資金計画は成り立っている。皆さんのが心配する維持管理費も経費をかけないような考え方（エレベーターもない）で設計している。競技場以外にも要望の多い遊具や調整池といった削れない部分もある。今後各施設の整備時期を考慮する等の検討にもう少し時間が欲しい。

男性 8

- ・事業をやらざるを得ないことは分かった。町長がやる方向でどれだけ積極的なのか心配だ。競技場は維持費が大変で利益を生むことはないが、施設については30～50年後を考えケチらずにしっかり造ってほしい。スタンドは簡素なものだが、立地条件は最高だ。知多や半田より良い。運営費を十分検討してほしいが、施設はしっかり造ってほしい。町長の本音を聞きたい。

⇒やる以上は財政も考え、将来のことも考え、皆さんの考えも聞いて一番いい方法でやろうと言っている。造るのは都市計画税ができるが、維持管理費が大変だ。5年毎の公認更新の修繕費が出せるか。維持管理費も2,000万円では厳しいと思う。

- ・日福大には全国的なコーチも来て、スポーツ科学部も増えて、陸上部も強くなるので、そういうことも考えてほしい。

⇒良い意見なので尊重させていただく。

男性 5

- ・コスト削減というが陸上競技場の削減はすべきでない。また、5m嵩上げすると避難所になると聞くがどうなのか。

⇒防災公園の計画で進んでいるが、町民の意見としては総合公園の方が優先だった。町の真ん中で整備する予定だったが有害物質が出たから運動公園を先にやろうとするのが今の計画。

そういう中で一番いい方法を議会ともども検討していこうとしているのでご理解いただきたい。

防災面については、開発に当たり調整池を設置する等の計画になっており現在の高さで防災公園としての機能を持っている。

男性 3

- ・造ることが町民の負担になる心配があり、日福大が出て行っても町が破綻することがなく愛知県が面倒見てくれるから心配ないと町長から言ってほしい。借金返済が続き、日福大が出ていったら知多新線がなくなると心配している声がある。

⇒知多新線が無くなるなどの議論はすべきでない。財政が厳しいと話をしたが、財政力指数は愛知県内で下から 7 番目であるものの、全国的には 440 番目くらいで決して悪いことではない。

男性 9

- ・学校統廃合の問題は齋藤町長以前からの課題なので、今回持ち出すのはおかしい。
- ・公園の計画は執行部で考えており、今後の経済の不安も考えて立案していると思う。
- ・かつての齋藤町政時代は日福大を敬遠していた。日福大との連携は山下町政から始まり今日に至っている。現在は、学生が児童生徒との間で連携するなど活躍し山下町政の結果が出ている。
- ・12/7 と 12/15 中日新聞に、「事業を進めるしかない」とあるが、当初の目的達成のために進めるという解釈でよいか。
- ・「トータルコスト削減に取り組む」とあるが、初期と維持のどこを削減するのか。イニシャルコストはそのままで、ランニングコストを考えるべき。
- ・「コストを削減することで議会と合意できた」とあるがどういうことか。今後議会で合意を得ようと引き延ばすのは止めてほしい。
- ・「明らかに私の勉強不足」とあるが、町長を 15 年 11 か月在任した人がそんなことを言って許されない。主張を信じて投票した人にどう責任を取るのか。
- ・スタートしていた事業に対して難癖をつけて町全体を混乱させている町長には潔く身を引いてほしいと強く要望する。

⇒いいご意見として承っておく。

議長

- ・チャレンジミハマは、コスト削減について町長と合意した覚えはない。
- ⇒合意はしていない。新聞に書かれただけ。コストについてはこれから話し合う。議会答弁で行ったこと以上のものはない。議会と執行部とも行く先のことを考えると言った。

男性 9

- ・引き延ばしは止めてほしい。若い子供たちは夢を持って臨んでいるのだから、十分考えてもらいたい。

男性 10

- ・身の丈に合った規模にしたいこと、維持管理費を安くしたいことを検討するというが、町長が決断すべきだ。維持管理費のかかる公認競技場とする規模を止める指示は出しているのか。

⇒結論は出していない。財政を考えながらあらゆる面を検討していくこと。議会で通ることを考えていきたい。

男性 11

- ・手の平を反して、具体的な計画がないと客観的に見て感じるが、どうやって信用したらよいのか。

⇒皆に喜んでもらえるよう努力する。信用してください。

